

## 県立熊谷農業高校 <<活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）>>

課程	全日制	学科	生物生産技術科・食品科学科 生物生産工学科・生活技術科	R7.5.1 生徒数	(男) 266 (女) 384	計 650			
アクセス	J R 高崎線「熊谷駅」北口下車 徒歩 30 分又は北口から太田駅行きバス 10 分 気象台入口下車 徒歩 5 分、秩父鉄道「石原駅」から徒歩 20 分								
<目指す学校像>									
命を育み 知を磨く学舎づくり（農業各分野の担い手・技術者と地域を担う人材の育成）									
<教育課程等> ※ 1									
<p>勤労を尊び責任を重んじる誠実さを持ち心身ともに健康で実行力のある『産業人』の育成</p> <p>① 4 学科 7 コースの特徴を生かし、最新施設・設備を活用して専門的知識・技術を習得できます。</p> <p>② 実験・実習を中心とした小グループの学習により、科学的に考え自ら実践する力を培います。</p> <p>③ 生命ある動植物を対象にした学習をとおして、思いやりを育み命を大切にする教育を行います。</p> <p>④ 地域の農業や農業関連産業、6 次産業化に寄与する教育を行います。</p> <p>⑤ 自己管理能力の向上を図り、規律ある学校環境で農業クラブ、家庭クラブ、生徒会、部活動を活性化させます。</p> <p>⑥ 自己の進路実現に向け積極的に行動し、自ら選択・決定する力を育みます。</p>									
<本校が求める生徒> ※ 2									
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 農業、家庭科の専門学習に興味があり、実験・実習、プロジェクト学習（課題解決型学習）に真剣に取り組むことができる生徒</li> <li>◆ 自分の夢に向かって努力し、規律正しい学校生活を送れる生徒</li> <li>◆ 命を大切に育み、誠実で明るく思いやりのある生徒</li> </ul>									
<学校行事>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 熊農祭（文化祭）：研究・成果発表、展示、農畜産物や加工食品の即売、かかしコンクール</li> <li>・ グリーンフェスティバル：農畜産物や加工食品の即売</li> <li>・ 修学旅行：関西（R4）、関西（R5）、沖縄（R6）</li> <li>・ 海外農業研修：ニュージーランド（H26）、ニュージーランド（H29）、中止（R2、R5）</li> </ul>									
<部活動>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弓道部：東日本大会出場（H29）、</li> <li>・ 書道部：学芸書道全国展優秀団体賞 9 年連続受賞（H28～R6）</li> <li>・ 写真部：関東地区高等学校写真展（奨励賞（H30）、優秀賞（R1）、奨励賞（R4） 全国高等学校総合文化祭写真部門 優秀賞（R2）</li> <li>・ 陸上競技部：「1500M」「5000M」関東大会出場（R5）</li> <li>・ ラグビー部：関東高等学校合同チームラグビーフットボール大会出場（R6）</li> <li>・ 皇室への「鈴虫提供」（S39～現在）</li> </ul> <p>※ 学校農業クラブ：「意見発表」関東大会出場（R6）、「プロジェクト発表」関東大会出場（R4・R5・R6）、「農業鑑定競技」全国大会優秀賞受賞（R4・R5・R6）、「家畜審査競技」全国大会出場（R4・R5）、「フラワーアレンジメント競技」全国大会出場（R5）</p> <p>※ 学校家庭クラブ：全国大会出場（R2）</p>									
<家庭・地域との連携>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域の保育園児、幼稚園児、小学生との稲刈り、野菜栽培などの交流 ・ 地元企業での農産物販売</li> <li>・ 熊谷市雪くま暖簾会のかき氷「雪くま」シロップ用ブドウの提供 ・ 県庁花時計の製作 ・ 校外農業実習（1 年）</li> <li>・ 地元小学生による学校見学、農業体験 ・ 市役所の花壇管理と壁面緑化 ・ マスコット「事故帽子」配布</li> <li>・ メロンを使用したスムージー開発の連携</li> </ul>									
進路	R7.3 卒業生	四大	25人	短大	6人	専門	87人	就職	89人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進学 54.9%（指定校推薦等）、就職 41.4% ・ 専門性を生かした進学・就職</li> <li>・ 四年制大学進学者の 20.0%が農業・農業系大学へ進学、36.5%が高校での専門を生かした大学へ進学</li> <li>・ 「農業」「フラワー」「動物」「栄養」「調理」「保育」「福祉」「看護医療系」の各種専門学校に進学</li> </ul>							

【学校教育法施行規則第 103 条の 2】高等学校における三つの方針  
 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）  
 ※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）  
 ※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）



# 県立熊谷農業高等学校

～ 命を育み 知を磨く学舎づくり ～

## 農業各分野の担い手・技術者と 地域を担う人材の育成

豊かな自然の中で、生徒たちが協力して「ものづくり」に励み、作る喜び、協力する喜び、完成する喜びを味わっています。部活動も運動部・文化部ともに盛んです。農業高校ならではの「農業クラブ活動」も活発に行っています。

### 生物生産技術科

栽培技術やその利用法、ガーデニングや緑地空間などの知識や技術を学習します

- ・植物生産コース
- ・ガーデニングコース



### 生物生産工学科

動物の飼育や草花の栽培と活用及びバイオテクノロジーについて学習します

- ・フラワーコース
- ・動物科学コース



### 食品科学科

食品の製造・成分分析・流通、微生物の利用、食品の安全性と健康など、食品について幅広く学習します

- ・食品科学コース



### 生活技術科

草花・野菜等の栽培技術及び、食物・被服保育・福祉について学習します

- ・食と生活コース
- ・子どもと福祉コース



夢の実現に向けて！



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっちゃん」

## 1年生

- ・基礎学力の定着
- ・農業の基本的な知識・技術の習得
- ・基本的生活習慣の確立
- ・自己理解を深め卒業後を見据えたコース選択

ICT活用  
学びの基礎診断  
英語少人数制学習  
時間厳守の徹底  
進路ガイダンス

## 2年生

- ・専門的な知識・技術の習得
- ・自主自立の姿勢確立
- ・部活動等を活性化し活気ある学校づくりに貢献
- ・コミュニケーション能力育成
- ・進路意識の向上

学科の特色を生かした専攻学習、小グループ学習、実験実習が中心  
『自ら考え、学び、実践する力』が身につきます！

ICT活用  
生徒共同実験実習  
修学旅行・遠足  
進路ガイダンス  
進路体験説明

## 3年生

### 希望進路実現！

- ・進路実現に向け積極的に行動
- ・高度な専門的知識・技術の習得
- ・科学的思考・課題解決能力の育成
- ・学校行事・部活動等でリーダーシップの発揮

課題研究・プロジェクト学習  
GAP（農業生産工程管理）教育  
スマート農業の実践、資格取得  
就職支援アドバイザーの面接指導  
小論文指導